

会議報告書 議事要旨（第1回庁舎検討懇談会）

-
-
- 【日 時】 2015/10/5 15:30～17:30
- 【場 所】 会津稽古堂 3F 研修室 2
- 【委 員】 出席 13 名、欠席 3 名（※別紙参照）
- 【事 務 局】 企画政策部 1 名
企画調整課 4 名
日本経済研究所 社会インフラ本部 2 名
- 【配付資料】
- ・ 次第
 - ・ 資料 1 庁舎検討懇談会委員名簿
 - ・ 資料 2 ～第 7 次総合計画の策定に向けた取組～庁舎検討懇談会について
 - ・ 資料 3 会津若松市について
 - ・ 資料 4 庁舎に関する市民の意識調査
(市民意識調査 平成 26 年 9 月～10 月実施)
 - ・ 資料 5 公共施設に関する意識調査
(公共施設に関する市民アンケート 平成 26 年 1 月実施)
 - ・ 資料 6 - 1 現庁舎の現状
 - ・ 資料 6 - 2 会津若松市庁舎配置図
 - ・ 鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想
 - ・ 会津若松市の公共施設[かわら版]
-
-

【議事要旨】

1. 開会（企画調整課）
2. 市長あいさつ（市長）
3. 委員紹介、事務局紹介（企画調整課）
4. 座長及び副座長選任（企画調整課）
 - ・ 座長は会津大学短期大学部産業情報科 教授 柴崎恭秀氏、副座長は会津若松スマートシティ推進協議会 代表幹事 宮澤洋一氏とし、委員の方々の異議がないことを確認。
5. 議事
 - (1) 懇談会について[資料 2]（企画調整課）
 - ・ 平成 29 年度以降に第 7 次総合計画を策定予定であるが、その中で庁舎の建替えについて、その方向性を示していく中で、委員の皆様のご意見を反映させたいと考えている。特に本懇談会では、社会環境の変化を踏まえた上で庁舎に必要とされる機能のあり方等について、ワークショップの実施や意見交換を通じて検討を行いたい。

会議報告書 議事要旨（第1回庁舎検討懇談会）

- ・ 本懇談会の議事要旨の内容については、市のホームページで公表する予定である。

(2) 「鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想」について（企画調整課）

(3) 庁舎に関する市民意識及び現庁舎の現状について

①庁舎に関する市民意識調査について[資料3]（日本経済研究所）

《質疑応答》

- ・ 資料3について、＜人口＞と＜財政＞の掲載年度が異なっており、比較しにくい。何か統一する方法はないか。また、今後の各統計データの推移について、推計などで数値を示すことはできないか。（委員）

⇒ 国勢調査は5年ごとの実施であり、平成16年度以降各年についての統計データは存在しない。しかしながら市では、人口ビジョンを策定しており、人口推計は行っている。あくまで推計上ではあるが、昨年10月時点で122,715人の人口は、今年10月の推定値では121,097人と、直近1年で千人以上減少することが想定されている。あわせて2060年には約6万5千人にまで人口が減少することが推定された。この現状を打開すべく、市では出生率を高める施策に取り組んでいるところである。特に、女性に働きやすい環境を整備し、人口減少（ひいては消滅可能性都市）を回避するための取組みの必要性を認識している。（企画政策部）

②会津若松市の公共施設[かわら版]について（企画調整課）

③庁舎に関する市民の意識調査[資料4]・公共施設に関する意識調査について[資料5]（日本経済研究所）

- ・ 平成26年度に実施した市民への2つのアンケート（市民意識調査、公共施設に関する市民アンケート）より、庁舎に関する設問と結果を抜粋し、まとめた資料である。（日本経済研究所）

④現庁舎の現状[資料6-1]・会津若松市庁舎配置図について[資料6-2]（企画調整課）

- ・ P3.の＜庁舎整備基金＞については、昭和41年から積み立てをしているものである。（企画調整課）
- ・ 市の最上位計画である「第6次会津若松市長期総合計画」では、庁舎整備については、「第3編地域別将来展望 A. 鶴ヶ城・中心市街地周辺地域」で検討しており、それを受けて「鶴ヶ城周辺公共施設利活用構想」を策定している。（企画調整課）

6. その他

《質疑応答》

- ・ 庁舎新築を前提と考えるならば、本懇談会では、場所や機能、規模を決定するということか。

会議報告書 議事要旨（第1回庁舎検討懇談会）

- また、学校等をはじめ重点的に取り組むべき各施設の優先順位（時期）は決まっているのか。庁舎は、他施設の整備を踏まえて整備時期を決定するのか。（委員）
- ⇒ 現在までの検討では、庁舎整備の場所については鶴ヶ城・中心市街地周辺地域を検討してきたが、本懇談会では、改めて意見を伺うものである。（企画政策部）
- ⇒ 庁舎整備基金や財政状況もあるので、様々な事例をもとに、場所や手法、整備時期を主に検討したい。また、ワークショップではその機能等を検討することを考えている。（企画調整課）
- ・ 本懇談会は、決定機関ではなく、あくまで意見を聴取する場であるということではないか。（委員）
- ⇒ その通りである。（企画調整課）
- ・ 庁舎整備を巡る議論については、昭和40年に庁舎整備基金条例を制定した際からこれまで継続しており、紆余曲折してきた。長年検討してきたものの、学校整備が優先されてきたこともあり、未だ具体には決まっていないため、本懇談会では庁舎整備についてご意見をいただき、次期の総合計画に方向性を反映させたいと考えている。（企画政策部）
 - ・ 中心市街地活性化と庁舎整備について考えると、中心市街地活性化に資する場所に整備されることが望ましいと考える。ただ、社会・環境ニーズが変化する中で、あまりFIXしない方が良いのではないかと。漠然と意見をまとめる方がよいのではないかと。たくさんの意見の中の一つとしてそれぞれの意見を活用してほしい。（委員）
 - ・ 今後もこれまで同様に、本当に来庁する必要があるのか疑問である。ITが発達する中、来庁の機会も減ることが想定される。将来的に、果たしてどういう人が来庁する必要があるのかを明らかにする必要があると考える。
これからの高齢者はITをマスターしている人が増えると考えられるため、バリアフリー機能を落とすことも考えられる。
集約する可能性があるのならば、サービスについてはITの充実で補完できるため、それらを踏まえて必要な建物のサイズを決めるべきだと考える。
また、民間資金の活用や民間に委ねることで公共サービスは減少させてもよいのではないかと。庁舎の管理費用の比較などを行った上で、意見を広く市民に聞いたかどうかと思う。（委員）
 - ・ 会津のテーマ、アイデンティティのようなものがわからない。そうしたテーマを踏まえた整備計画があればわかりやすいのではないかと。（例：健康都市 会津若松）
機能についても、これまでの経緯を踏まえて話し合いが出来たらよいのではないかと。庁舎の新たな概念を提供しなければ、市民には庁舎整備は理解しづらい。（委員）
 - ・ 資料6-1のP.2について、将来必要とされる延べ床面積や、本庁と支所の役割

会議報告書 議事要旨（第1回庁舎検討懇談会）

分担・職員数等が推定されれば、どの程度の規模や機能が必要となるのか明確になるのではないかと。（委員）

- ・ 区長会では合併当初より、庁舎整備について機能が分散している現状をやめ、行政効率化の観点からも総合庁舎整備は必要であると考えている。また、複数の公民館が存在しているが、利用目的が同じ施設について集約することは良いのではないかと考えている。（委員）

7. 閉会（企画調整課）

- ・ 今回の議論は次回懇談会で実施するWSの参考になるものとする。
- ・ WS等を通じて引き続き、自由な意見を頂戴したい。テーマを絞り込んでいきたいが、懇談会の想定回数が不足するようであれば、来年度も引き続き行うことを考えている。
- ・ 次回は、10月23日（金）13:30～を予定。

以上

会議報告書 議事要旨 (第1回庁舎検討懇談会)

(別紙)

庁舎検討懇談会委員

【参加者】

氏名	備考
小林 正人	公募市民
大須賀 啓次	公募市民
小椋 満幸	公募市民
松嶋 加代子	公募市民
斎藤 良雄	各種団体 (会津若松市区長会)
宮森 泰弘	各種団体 (会津若松商工会議所)
澁川 恵男	各種団体 (株式会社まちづくり会津)
小畑 匠	各種団体 (会津青年会議所)
宮澤 洋一	各種団体 (会津若松スマートシティ推進協議会)
竹内 樹美	各種団体 (福島県建築士会会津支部)
佐藤 俊材	各種団体 (会津若松市地域公共交通会議)
柴崎 恭秀	学識経験者 (会津大学短期大学部教授)
中川 浩然 (※)	行政機関 (福島県会津地方振興局) (代理: 三塚氏)

計 13 名

※代理出席による

【欠席者】

氏名	備考
渡部 卓也	公募市民
渡部 香世子	公募市民
柁屋 奈津子	公募市民

計 3 名